

台東区滞納管理標準準拠システム移行業務委託事業者選定に関する公募型プロポーザル

区独自機能要件回答書作成要領

1. 前提

- ・機能要件の必要性について、以下に記載する内容で示す。

区分	必要性
必須機能	運用上必要な機能である。要求機能をパッケージ標準機能で実現できない場合は、必ず別機能又は代替手段等により対応すること。
要望機能	運用上搭載していることが望ましい機能である。要求機能を実現できない場合は、別機能又は代替手段等により対応することが望ましい。

※なお、様式5「区独自機能要件回答書」の内容については、確定した仕様ではなく、選定された製品の販売事業者と最終的な仕様、権利の帰属、見積金額、スケジュール等の調整を行った上で、確定する。

2. 回答基準

- ・様式「区独自機能要件回答書」の「回答」欄に、下記基準で回答すること。

回答基準	
A	区が要求する機能が、パッケージ標準機能で実現可能である。
B	パッケージ標準機能として搭載していないが、別機能または代替手段により区の要求する業務が実現可能である。(無償) もしくは、パッケージ標準機能では一部要件のみ満たすが、別機能または代替手段との組み合わせにより、区の要求する業務は実現可能である。(無償) ⇒別機能の内容、業務処理方法(実現方法)を「備考」欄に記入すること。
C	区が要求する機能を実現するため、個別に追加改修(カスタマイズ)することで実現可能である。(無償) ⇒個別改修(カスタマイズ)の概要を「備考」欄に記入すること。
D	区が要求する機能を実現するため、個別に追加改修(カスタマイズ)することで実現可能である。(有償) ⇒個別改修(カスタマイズ)の概要及び経費に掛かる費用を「備考」欄に記入すること。また、別途提出する様式9「見積書」にも合わせて計上すること。
E	区が要求する機能の実現ができない、又は追加改修(カスタマイズ)することで実現可能であるが、改修規模が多大等により、改修を推奨しない。 ⇒「備考」欄の記入は不要。